

令和5年度 福島中学校 シラバス

学 年	I	教 科	美術	担 当	伊藤飛香	時 数	45
-----	---	-----	----	-----	------	-----	----

◆教科の目標

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これからを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、美術を主体的に生活や学習に生かそうとする力を育む

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣 旨	感性や想像力を働かせ、自分の見方や考え方、感じ方によって、美術と社会の関係、そこに機能する美術の役割について理解できる。また、表現の為に必要な知識や技術を習得し、効果的に使用できる。	感性や美的感覚を働かせて、創造する事の楽しさや深さを味わいながら、作品と自身、機能性と美しさの調和、美術の社会等との関わりについて深く考えることができる。また、表現活動を通して、問題意識を持ち、表現方法を選択、工夫をする等、自己の課題に柔軟に対応しながら、表現することができる。	授業の内容を理解し、創造する事の楽しさや対象の美しさ、美術の持つよさに気付きながら、よりよい自己表現に向けて深く考え、粘り強く制作しようとしている。また、美術を通して芸術文化に親しむ事が出来るよう主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に参加し多面的に美術を捉え、取り組もうとしている。

◆年間指導計画

月	領域	単 元 名 【 時 間 】	学 習 内 容	観点別評価の規準	評価方法
4 月 5 月 6 月 7 月	絵 画	「見つめ感じ取り描く」 3 時間	- 鉛筆の使い方（グレースケール） 鉛筆の削り方から使い方まで基本的な技術を身につけ、手を動かす事で得られるモノと触れ合うことの大切さを理解する。 - 鉛筆による濃淡のグラデーションを制作し、基本的な鉛筆の使い方を学ぶ。	【知】基本的な鉛筆の使い方、カッターで削る、描くなど 道具の特性を理解し、技能を身に付けている。 【主】描画用鉛筆で様々な明度を使って画材の特徴を認識しながら工夫して描こうとしている。	【知】テスト 【思】提出作品 【主】観察, 提出作品
		「デッサン」① 3 時間	幾何形態を描く（素描1） グラデーションを利用して明暗で立体感をとらえる。 練り消しゴムの効果を考えて使うことができる。 観察をしながら、絵画における鉛筆の使い方慣れ親しむ。	【知】対象を深く観察し、描画用鉛筆で表現される様々な明度を使って描くことができる。 【思】描画のタッチや練りゴムを使った表現など、創意工夫しながら表現している。 【主】描くという行為から描く楽しみ、表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。	【知】テスト 【思】観察, 提出作品 【主】観察, 提出作品
		「デッサン」② 4 時間	- 身の回りの物を描く（素描2） 普段使用している身近な物を描く事で、観察力を養い、鉛筆によるデッサンに慣れ親しむ。 - 鑑賞会 生徒相互の鑑賞活動を通して、級友の表現をも味わい楽しむ。	【知】描画用鉛筆で様々な明度を描く技法を効果的に使い、対象を観察して描くことができる。 【思】対象を深く観察して創意工夫しながら表現している。 【主】描くという基本的な行為から描く楽しみ、表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。 【知】相互鑑賞する事で、級友の作品の良さに気づき、表現の多様性を理解することができる。	【知】テスト、提出作品 【思】観察, 提出作品 【主】観察, 提出作品
		「色で遊ぼう」 2 時間	- 色彩演習Ⅰ（ドローイング） 中学校から使用し始めるアクリル絵の具の特性に慣れ親しむ。 - 自由に描いてみる。 - 作品制作を通して自己の個性に気づき、効果を考え意図的に表現することができる。	【知】様々な画材を経験することで画材の持つ表現の可能性を理解して味わっている。 描く画材に主体的にかかわり取り組もうとしている。 【思】描く画材に主体的にかかわり表現できる。 【主】表現意図に沿って画材を主体的に選択し、表現しようとしている。	【知】テスト 【思】観察, 提出作品 【主】観察, 提出作品
8 月	知 識・鑑 賞	「夏休み自宅課題」	（夏休み自宅課題）作家研究 美術館、図書館などで好きな作家を調べてレポートする。そのこと通して芸術の多様性を知る。	【思】調べた作家の時代背景や表現意図、表現の工夫を知る。自分の作品に生かそうとする。 【知】主体的に様々なメディアを通して美術と社会の関係を理解しようとしている。また、鑑賞することの楽しさを味わおうとしている。	【知】ワークシート 【主】ワークシート
9 月 ～ 12 月	デ ザ イ ン	「文字のデザイン」 15時間	- レタリング①（明朝体、ゴシック体） 明朝体からゴシック体の基本的なフォントを手書きで書くことで社会的に文字のデザインがどう機能するか考える。（4時間） - レタリング②（自由制作） レタリング①で学んだ知識や技能を生かしたり、色彩を工夫したりしながら、自分の好きな言葉をレタリングで制作する。（6時間） - レタリング③（アートな文字） レタリングの技術を使用しつつ、文字の意味を考えながら文字の形を自由にデザインする。（5時間） ・鑑賞会（1時間）	【知】フォントが社会的にどのような機能をしているか理解している。フォントを手書きする技術が身についている。 【思】対象を深く観察して創意工夫しながら取り組んでいる。 【主】対象をよく観察して楽しみながら、最後まで諦めずに主体的に取り組もうとしている。 【主】生徒相互の観賞を通して作品の良さに気づき自分のさく品に生かそうとしている。	【知】提出作品、テスト、ワークシート 【思】観察, 提出作品 【主】観察, 提出作品

1月	絵画、デザイン	「色の知識」 3時間	- 色彩の演習2 - 色相環の制作。	【知】色彩に関する知識を理解している。 【思】色と色の関わりについて関心を持って考える。 【主】主体的に色相環の制作に取り組んでいる。	【知】提出作品、テスト、ワークシート 【思】観察, 提出作品 【主】観察, 提出作品
2月～3月	立体	「身近なものをリアルに表現する」 15時間	食品サンプル 4月から学んでいる観察力や色の基礎知識を生かし、身近な食材、食品などを粘土でリアルに表現する。 食品や身近なものを観察して対象と向き合い様々な技法を使い表現をする事の楽しさを味わう。	【知】各対象に適した素材や色彩の選択をする。材料や道具の特性を理解し、技能を身につけている。 【思】対象を深く観察して創意工夫しながら取り組んでいる。 【主】対象をよく観察して楽しみながら最後まで諦めず主体的に取り組んでいる。 【主】生徒相互の観賞を通して作品の良さに気づき自分のさく品に生かそうとしている。	【知】テスト 【思】観察, 提出作品 【主】観察, 提出作品